

Shell Tellus S3 VE

シェル テラス S3 VE

- ・省エネルギー
- ・耐摩耗性
- ・超ロングライフ
- ・熱・酸化安定性
- ・低温始動性
- ・高引火点-可燃性液体類
- ・合成油

シェル テラス S3 VE は、シェルグループ独自の合成油を基油に使用した、省エネルギー、長寿命、可燃性液体類に分類される超高性能油圧作動油です。機械保護性能に優れているため、トラブルを防止し安定操業に貢献します。またシェル テラス S3 VE はスラッジの生成が極めて少ないため、更油期間の延長ができ、メンテナンスに関わるコスト・手間の削減が期待できます。

製品性能と特徴

● 優れた機械保護性能

シェル テラス S3 VE は合成基油の使用と最適な添加剤配合の結果、熱/酸化安定性に優れスラッジの生成が少なく、スラッジによる回路閉塞、潤滑不良を抑えます。また耐摩耗性に優れるため、しゅう動部の摩耗を防止し油圧ポンプの故障を防ぎます。FZG歯車試験で「12ステージ合格」の優れた極圧性を有しており油圧装置の安定した稼働を維持します。

● 優れた省エネルギー性能

シェル テラス S3 VE は通常の油圧作動油に比較して密度が低く、油圧系内での圧力損失によるエネルギーロスを抑えます。摩擦特性に優れ、しゅう動部でのエネルギーロスが小さいことと合わせて、大きな省エネルギー効果が期待できます。また粘度指数が高いため低温から高温まで広い温度範囲での使用が可能です。特に低温粘度が低いため、冬期間の暖機運転時間の短縮による省エネルギーおよび生産性の向上にも寄与します。

● 機器の安定稼働に貢献します

シェル テラス S3 VE はスラッジの生成が少ないため、スラッジの固着によるバルブの作動不良を防ぎ生産性の向上に寄与します。また油圧回路中の部品の交換頻度の延長によりメンテナンスコストの削減も可能です。

● 超ロングライフ

シェル テラス S3 VE はスラッジの生成が少なく長期間の使用に耐える油圧作動油です。長寿命化による更油期間の延長により廃油量および廃油処理経費の削減が期待できます。

● 消防法上の取り扱いが容易

シェル テラス S3 VE は 250℃以上の引火点を有し消防法上の可燃性液体類に分類されるため、第四石油類の油圧作動油に比較して、管理や取り扱いが容易になります。

● 精密機器に対応可能

シェル テラス S3 VE は「ISO4406:18/16/13 保証 (NAS 7 級レベル)」のクリーンなオイルです。またスラッジの生成も少ないため、サーボ機構を含む精密油圧システムにも最適です。

● 適合規格

ASTM D6158 (HV fluids)

ISO 11158 (HV fluids)

DIN 51524 Part 3 HVLP type

シェル テラス S3 VE 代表性状*								
油種	項目	密度 (15℃) g/cm ³	引火点 (開放式) ℃	流動点 ℃	色	動粘度 mm ² /s		粘度 指数
						@40℃	@100℃	
	シェル テラス S3 VE 32**	0.831	260	−40.0	l0.5	32	6.3	150
	シェル テラス S3 VE 46**	0.835	262	−40.0	l0.5	46	8.1	151

*代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変更場合があります。(2016-01)

**シェル テラス S3 VE は、可燃性液体類です。

シェル テラス S3 VE の販売荷姿 : 200Lドラム 20Lペール缶

■ 使用上の留意点

- ・機械および潤滑油を長持ちさせるため、新油をタンクに張り込む前に必ず装置のフラッシングを行ない、内部および潤滑箇所を清浄にするとともに、使用中も異物が混入しないように機器のメンテナンスに充分留意してください。
- ・また、他銘柄との混合使用は油の性能低下をきたすことが考えられますので出来るだけ避け、やむを得ない場合は、時期を見て早めに一度全量交換することをお勧めします。
- ・ご使用にあたっては、事前に安全データシート(SDS)をご覧ください。
- ・製品の海外輸出に際しては、輸出貿易管理令の該非判定だけでなく、その他の要件によって日本政府当局への許可申請が必要になる場合があります。また仕向国の法規等により輸入制限をうける場合もありますので、製品を自ら輸出されているお客様は、この点をご理解の上ご自身の責任で必要な措置を講じるようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、ルブカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

※本資料は、事業者様向けに作成されたものです。



取扱上の注意 ▼下記の注意事項に従ってお取扱ください。

《取り扱い上の注意》	
【安全対策】	・使用前にカタログ、SDS を入手し、全ての安全情報を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・取り扱う際は保護具を使用すること。
【応急措置】	・飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。 ・無理に吐かせないこと。 ・飲み込むと下痢・嘔吐を起こすことがあります。 ・目に入ると炎症を起こすことがあります。目に入った場合は、清浄な水で最低 15 分間洗浄し、医師の手当てを受けること。 ・皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。皮膚に付着した場合は、水と石鹸で十分に洗うこと。
【保管】	・直射日光を避け、換気の良い場所に保管すること。 ・ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管すること。
【廃棄】	・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。具体的には、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 ・不明な場合は購入先に相談の上処理すること。

Ver.2. 2019.8.1